

2025 年 8 月 7 日

昭和産業株式会社

2026 年 3 月期 第 1 四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の 2026 年 3 月期第 1 四半期連結決算は、売上高 84,647 百万円、営業利益 3,534 百万円、経常利益 4,393 百万円となりました。2026 年 3 月期連結業績予想については、売上高 340,000 百万円、営業利益 11,000 百万円、経常利益 13,000 百万円を見込んでおります。

【2026 年 3 月期第 1 四半期連結決算】

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しているほか、インバウンド消費の拡大等により回復の兆しが見られました。しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の高まりや物流コスト・人件費の増加に加え、米国の関税政策などの動向による世界経済への影響や長期化する不安定な国際情勢などもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画 23-25」を 2023 年 4 月にスタートし、基本コンセプト『SHOWA の“SHIN-KA”宣言～90 年、そしてその先へ～』を掲げ、5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当第 1 四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は 84,647 百万円と前年同期に比べ 1,282 百万円（1.5%）の減収となりました。営業利益は 3,534 百万円と前年同期に比べ 584 百万円（14.2%）の減益、経常利益は 4,393 百万円と前年同期に比べ 797 百万円（15.4%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は 2,897 百万円と賃貸用不動産売却による固定資産売却益を計上した前年同期に比べ 2,424 百万円（45.6%）の減益となりました。

【2026 年 3 月期連結業績予想】

第 2 四半期以降も不安定な国際情勢や為替相場の動向、物価上昇や物流コスト・人件費の増加など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2025 年 5 月 12 日に公表した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以 上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL：03-3257-2042 担当：関口